

講習の名称	【選択】音楽科の学習指導(編曲法)～教科書教材を活用した編曲の実践～
講習の概要	音楽科指導の基盤となる「作・編曲法」の技術及び教材分析の能力を高め、中学校・高等学校音楽科の指導力を総合的に向上させることを目指す。具体的には、いくつかの合唱作品を例に和声的、対位法的工夫の可能性をさぐり、実際に《夏の思い出》を合唱に編曲する。講習の最後に受講生全員の編曲作品を演奏する予定（合唱は学生、ピアノ伴奏は受講者）。
担当講師	名倉 明子（地域教育文化学部主担当准教授）
講習開設日	令和3年7月25日（日）
時間数	8:50～16:10（6時間）
開催地	山形県山形市
会場・教室	小白川キャンパス A10（地域教育文化学部）文化ホール・練習室
対象職種	教諭
主な受講対象者	中学校教諭（音楽）、高等学校教諭（音楽）
受講予定人数	5人
受講者への連絡事項 （持ち物等）	持ち物：五線紙、筆記用具 《夏の思い出》（江間章子作詞/中田喜直作曲）の混声四部合唱への編曲を行います。最後に完成した楽曲を試演し書いた音を耳で確かめブラッシュアップを試みます(場合によっては一部分のみ。合唱は学生に依頼、伴奏は受講者)。 講習の時間が限られているため予め和声分析をしてきてください。また、ある程度構想を練ってきていただければ、編曲をスムーズに進めることができるかと思えます。
評価基準	合格基準 ①全時間出席していること ②和声を理解し工夫を凝らし編曲できること
評価の観点	編曲のアイデアや音楽性などを総合的にみて判断する。
その他特記事項	